

# 特許紹介

第 2 卷 第 2 號 昭和 11 年 2 月

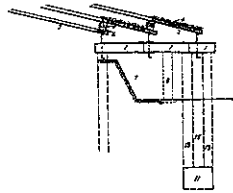
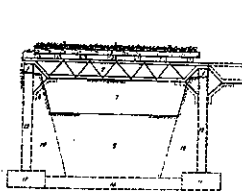
## 地下建造物建築方法

(特許第 118101 號 出願 9-8-3)  
特許権者 小野 詔元

此の發明は、僅少な堅坑部以外に地表面を傷けること無く、地上の家屋を撤去する必要無き廉便にして安全な地下建造物の建築方法を得んとして考案せられたものであつて、即ち工事開始に當り、地表から地下建造物の一端へ堅坑を掘鑿し、次でその堅坑前側即ち掘進方向に上部兩側を抜掘し、枕梁 (1) を横たへ此の上に將來地

図-1.

図-2.



下建造物の主要骨格材たるべき横梁 (2) を架け渡し、その横梁を越えて掘進方向へ土留板若しくは土留受 (3) を打つて天井土留施工をなし、其の下部即ち建造物の天井部に沿ひ扁平に掘進 (7) し、順次兩側抜掘と枕梁とを延長し、横梁と土留施工をしながら扁平掘進を継続するのであつて、兩側は枕梁を支持するに足る部分 (10) (10) を残して掘り下げ、切り擴げを行ひ底部に達した時、側方は抜掘 (13) によつて枕梁の下に達せしめ、此處へ永久主要骨格材たるべき側柱 (12) を立て、枕梁を支持せしめ、次いで残部の土砂を除いて切り擴げを終了し、前記枕梁と横梁と兩側支柱と床とをコンクリート又は煉瓦等によつて被包する方法である (図-1、図-2 参照)。

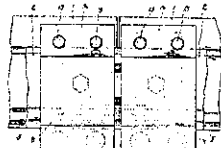
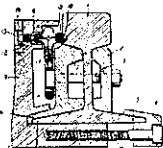
## 電気軌條継手

(特許第 118156 號 出願 9-11-17)  
特許権者 (發明者) 和田 富一

此の發明は、継目版を施した軌條 (1) 継手の外側に衝立版 (8) を固定し、軌條頭根部とに相對凹所 (9) (10) を設け、電導束線 (11) の各端を各軌條の凹所 (10) に嵌入

図-3.

図-4.



し、之を折曲げ各衝立凹所 (9) に嵌込み、押螺杆 (13) を以て之等電導束線兩端部を固定し、而して各束線の中間部は、衝立版と継目版との中間に收藏せしめて成る電気軌條継手であつて、電導束線を衝立版内に收藏して盜難を防止し束線の軌條取附又は取外しを容易ならしめん爲に考案したものである (図-3、図-4)。

## 特殊セメント製造法

(特許第 113208 號 出願 9-9-14)  
特許権者 (發明者) 横山 文司 特許権者 秩父セメント株式会社

此の發明は、セメント調合原料にチタニウム化合物と共に、クロム、マンガ、バナヂウム等の化合物の各一種又はクロムとバナヂウム、若しくはマンガとバナヂウムの化合物を添加して燒成する特殊セメント製造法であつて、優秀な強度と耐酸性耐水性等を有するセメントを低温度で燒成するを目的としたものである。

## 金網蛇籠工の改良

(特許第 119271 號 出願 10-1-22)  
特許権者 (發明者) 山下 榮

此の發明は、蛇籠工の表面をして流れの方向如何に關せず、高度の抵抗と蛇籠個々の單獨滑落を防止し得る工法を得んとして考案せられたものであつて、即ち金網蛇籠の無終

図-5.

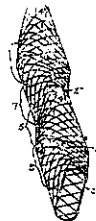
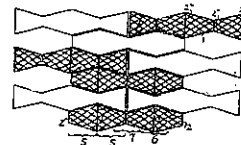


図-6.



端閉網中に等距離に交互に豎中枠と横中枠とを挿入裝填して、蛇籠

に豎形断面と横形断面とを交錯せしめた蛇籠を基本とし (図-5)、之に隣る蛇籠を 90° 転位せしめて、連繋せしめる方法である (図-6)。

## 試錐孔セメント乳注入機

(特許第 113391 號 出願 9-8-7)  
特許権者 (發明者) 山下 隆太郎, 佐伯 謙吉

此の發明は、ケーシングパイプ (A) の上端に取附用金具 (C) を螺着し、セメント乳注入管 (B) を廻轉する調車 (1) を固着したセメント乳注入管 (B) を前記取附用金具 (C) 内に滑脱し、取附用金具 (C) の上部のセメント乳注入管 (B) の周圍に有する空隙をゴムワッシャーで

詰め、之を押へる様に接続用金具 (G) を装着し、その一側にセメント乳循環管 (E) を開口せしめ、他側に圧力計 (H) の下端を開口せしめた試験孔セメント乳注入機であつて、之に依り、セメント乳注入管の回転で試験孔内のセメント乳を攪拌し均一な濃度とし、且つセメント乳の固結に依り試験孔内に該管を膠着せしむる事を防止し、又圧力計の指示により、地層龜裂へ浸潤せしめるに適切なセメント乳の濃度を確めミクサー (R) 内のセメント乳の濃度を調節し、セメント乳循環管 (E) を介して試験孔内と

図-7

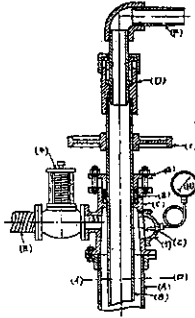
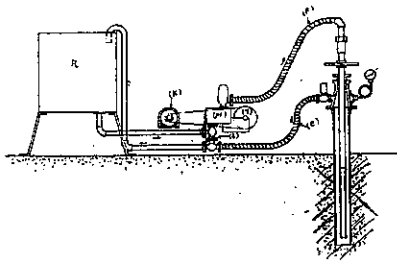


図-8.



ミクサー (R) との間を完全にセメント乳をして循環せしめて試験孔内のセメント乳の濃度をして前記のセメント乳の適切な濃度と合致せしめんとするものである (図-7、図-8)。

### 特殊ポルトランドセメントの製造法

(特許第 113784 號 出願 9-11-13)  
(發明者 秋山桂一 特許權者 三宅常時)

此の發明は、セメントクリンカー中に酸化マンガシ及び酸化クロムの含量 8% 以下を含有する様に、普通のポルトランドセメント調合原料中にマンガシとクロム鉄鏝とを混和し、同回転窯中で酸化燐又は中性燐を以て燒成する場合、該原料中の礫土分の一部を酸化チタンを以て置換するセメント製造法であつて、發明の目的は凝結硬化時に於ける發熱量低く、しかも初期及び長期に於ける強度大なる特殊セメントを得んとするに在る。

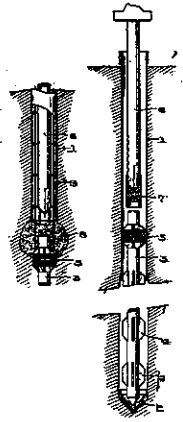
### 合成杭施工法

(特許第 113419 號 出願 8-10-27)  
(發明者 唯 運三 特許權者 東洋コンクリート株式会社)

此の發明は、外管を通じて打込んだ杭の上部に球根狀の膨出部を有する合成杭を、簡單迅速に且つ正確に地中

に築造し、比較的軟弱な地盤に對し、コンクリート杭を深く築造する煩を避け、而も杭の結合に依り其の載架重を大ならしめ得る合成杭の施工法を目的として考案せられたものであつて、即ち外管 (1) を尖管 (2) と共に地中に打込み、既成の杭 (3) を外管 (1) 内に挿入し、内管 (6) の下端に適當の補強管 (7) を取付けて杭頭に載置し、槌打して前記の杭を外管より下方に打込み、然る後、杭の上部にコンクリートを供給し、内管頭部を槌打ち乍ら徐々に外管を引揚げる作業を反覆して前記杭の上部にコンクリートを築造する方法に於て、前記既成杭 (3) に填隙装置 (5) を施して外管内に挿入し、杭を外管より下方に打込むに際し、地下水の外管内に湧出するのを防止する方法である (図-9)。

図-9.



### 道路舗装用瀝青乳劑の製造法

(特許第 113421 號 出願 10-2-3)  
(發明者 木村木、日高史郎 特許權者 橋本)

此の發明は、粒子が頗る小さく安定性に富み、強靱な瀝青被膜を形成する瀝青乳劑を安價に製出せんとして考案せられたものであつて、コールタル等から抽出したタル酸に石鹼を加へ水溶性とした所謂タル酸石鹼又は之に安定劑として硅酸曹達を混じたものを乳化劑として熔融せる瀝青物質を水性エマルジョンとする方法である。

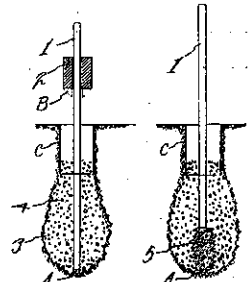
### 基礎築造方法

(特許第 113457 號 出願 10-1-24)  
(發明者 (發明者) 中村 金銀)

此の發明は、地層を圧縮して窟穴を設くべき重錘 (2) の誘導管 (1) を地層に樹立し、重錘で地層を打搗して誘導管を圍繞する適當の深さの窟穴 (3) を設け (図-10)、その中に砂利を充填し、之を打搗して窟穴の下方を膨大せしめた後、砂利の中部に砂利を利用してコンクリート柱を構成し且つ柱と砂利との摩擦を大ならしめる突出部を設ける爲、前記の誘導管を漸次に引抜き乍ら

図-10.

図-11.



誘導管内にモルタルを注入し(図-11)、コンクリート柱が適當の長さに達した時、之より直径の大きいコンクリート冠帽体(6)を一體的に築造する方法であつて、之に依り柱の摩擦抵抗を大ならしめ、且つ柱を正確に垂直に設けんとするものである。

**コンクリートの製造法**

(特許第 113512 號 出願 9-10-1)  
特許権者 (發明者) 吉田 謙次郎

此の發明は、直径 10 ミクロン以下の超微粉となしたセメント微粒子を核として水蒸氣を凝結せしめて得た粘泥を使用するコンクリートの製造法であつて、その目的は使用するセメントの全量を超微粉として活性化し、氣泡の介在を排除して密實にして抗張力の強大なコンクリートの製造に在る。

**アスファルト乳劑用乳化劑の製造法**

(特許第 113513 號 出願 10-1-24)  
特許権者 (發明者) 宮崎 三平

此の發明は、冬期貯藏してもアスファルト乳劑の凝結することがなく、且つ使用上適度の粘度を有する安定な乳劑を作り得るアスファルト乳劑用乳化劑を得んとして考案せられたものであつて、即ち落花生油の如き液狀油の石鹼の鹽析後、水硝子及び例へばオレイン酸の如き液体脂肪酸を添加作用せしめて石鹼中に珪酸ゲルを含有せしめ、次に脂肪酸のもの及びグリセリドを均一に混和し、冷却固化するものである。

**鉄筋ゴム フランジを有する護謨裏附管**

(特許第 113526 號 出願 10-4-18)  
發明者 中根 考, 小出 武城 特許権者 廣瀬護謨製造株式会社

此の發明は、接手部の龜裂歪を防止し、重量を減少して取扱を簡易ならしめると共に、硬質ゴムフランジの和硫に當り何等の型鋳を要しない管を得んとして考案せられたものであつて、即ち鉄管の端部に於て、若干長に

図-12.

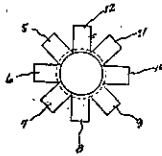
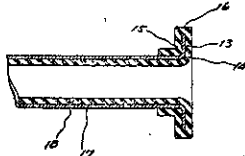


図-13.



互り管の軸線と略平行する任意條數の切込を附して管の端部を分割せしめ、次で之等の分割片(5)(6)……(11)(12)を管の外方に折曲げ軸線と直交する面に於て放射狀の鉄筋部(13)を形成せしめ、之に接着劑を介して未和硫狀態に於ける硬質又は可撓性硬質護謨層(14)(15)

を内外から接着して密に被包し、管の内面にはフランジの護謨と同質若くは未和硫軟質護謨層を貼着した後、全体を和硫して製造するものである(図-12, 図-13)。

**水を氣曝する装置**

(特許第 113529 號 出願 10-1-14)  
發明者 津田 喜次郎 特許権者 合資会社津田式ポンプ製作所

此の發明は、極めて縮少せられた形態に於て機械的に然も連続的に克く水と空氣との混和をなし、迅速に水を

図-14.

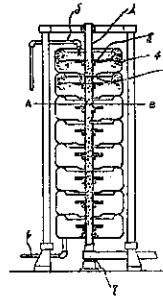
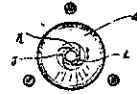


図-15.



酸化氣曝せしむる爲に考案せられたものであつて、即ち、迅速に廻轉する垂直軸(1)の上下に涉り多數の振出口盤(2)又は翼車を固定し、振出口盤は夫々下部に排出孔(3)を有する円形函(4)内にあらしめ、最上部の振出口盤上には送水管(5)を導き、最下部の円形函の底部には排水管(6)を設け、振出口盤をして水と空氣との混和したものを放出して円形函の内周面に激突反射せしめて微粒とし、水粒を順次下方に流下せしめて同様操作を多數回反復行はしむるやうにしたものである(図-14, 図-15)。

**瀝青乳劑製造法**

(特許第 113536 號 出願 10-1-23)  
發明者 水田 政吉, 岡本忠夫 特許権者 日本石油)

此の發明は、熔融せるアスファルトに豫め樹脂或は樹脂酸の1種又は2種以上を添加し置き、之を凝固點20°C以下なる油脂の1種或は2種以上又は之等の油脂を構成する脂肪酸の1種或は2種以上より成る石鹼液にアスファルトを添加し置きたる樹脂或は樹脂酸を鹼化するに要する苛性アルカリの他に0.4%以下の過剰苛性アルカリ及び澱粉を含有せしめた乳化液と共にホモナイザーにて播碎混和して乳化せしめる瀝青乳劑の製造法であつて、其の目的は樹脂或は樹脂酸の量と乳化液中の前記の石鹼含有量とを相互は変化せしめることに依つて、瀝青乳劑の分解速度を使用目的に応じて任意に変化せしめ、同時に貯藏安定度低温安定度良好なものを得るに在る。

**コンクリート**

(特許第 113550 號 優先權主張 7-11-21)  
特許権者 デュニイ アンド、アルミイ ケミカル、コンパニイ)

此の發明は、セメント又はコンクリートに導入せらる

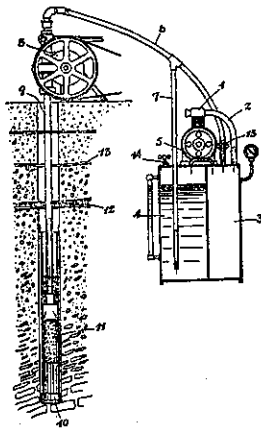
る分散剤 (デイスパーヅング エゼント) の存在の下にセメント團塊及び水を以て形成せられたコンクリートであつて、前記分散剤が脂肪屬核に結合せる多數の芳香族核より成る化学構造を有するスルフォン酸化合物である事の特徴とするコンクリートであつて、從來より一層緻密にして耐久性に富み、更に耐水性なるコンクリートを目的として考案したものである。

**氣水混用掘鑿法**

(特許第 113567 號 出願 10-2-5)  
(特許権者 (發明者) 栗田 啓治)

此の發明は、空氣圧搾機から圧搾空氣を受くべき空氣槽 (3) と水槽 (4) とを空氣管 (2) によつて連絡すると共に、前記空氣槽から出る空氣管 (6) と水槽から出る水管 (7) とを連結して圧搾空氣と水とを混合せしめ、此の氣水混合体を掘鑿管 (9) 内に圧入して掘鑿管の錐先より噴出せしむる掘鑿法であつて、之に依り、掘鑿用水の量を減じコアの採取量を増大し、錐先の充塞を防止し地下の割目及び水層に達したことを速知せんとするものである (図-16)。

圖-16.

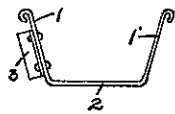


**矢板**

(特許第 113571 號 出願 10-2-13)  
(特許権者 (發明者) 木本 佳郎)

圖-17.

此の發明は、鏝の下部或は之に近い腹部に突出傾斜部を設けた矢板であり、之に依り、砂利交りの砂の如き障害物の抵抗にあらざる普通の土の抵抗を利用し、矢板の傾斜を防ぐと共に、既に傾斜せる矢板の修正をもなさんとするものである (図-17)。



**コンクリート又は地盤等内の間隙内にアスファルトを填充する方法**

(特許第 113575 號 出願 9-4-26)  
(特許権者 (發明者) 高田 昭)

此の發明は、コンクリート又は地盤等内の間隙の状態如何に關せず、之を簡單迅速にアスファルトに依り充填閉塞し、長期に亘り漏水を確實に防止し得る方法を得ん

として考案せられたものであつて、即ち瀝青乳劑と乳劑の乳化状態を破壊せしめる藥劑とを異なる注入路を通じて同時又は交互に別々の流れとして間隙内に注入し、間隙内の適所に於て兩者を遭遇せしめて瀝青を分離せしむる方法である。

**(附) 登録實用新案**

- 管接合装置 (第 213437 號 實用新案權者 小島錦太郎 公告 10 年第 6082 號)
- 管の接手 (第 213467 號 實用新案權者 磯本勇之助 公告 10 年第 6102 號)
- 繼軸装置を具へたるコンクリート振動充填機 (第 213527 號 實用新案權者 日本信託株式会社 公告 10 年第 6114 號)
- 軌道用転轍器 (第 213532 號 實用新案權者 株式会社大同電機製造所 公告 10 年第 6043 號)
- 組合せブロック (第 213575 號 實用新案權者 小山久四郎 公告 10 年第 5215 號)
- コンクリート管連結装置 (第 213533 號 實用新案權者 下島北木之助 公告 10 年第 4147 號)
- 靴籠 (第 213599 號 實用新案權者 北村多喜太郎 公告 10 年第 6454 號)
- 不凍栓 (第 213659 號 實用新案權者 富田漢吉 公告 10 年第 9415 號)
- 軌條絶縁装置 (第 213756 號 實用新案權者 河原 政 公告 10 年第 8186 號)
- 管接手 (第 213768 號 實用新案權者 浦上崇治 公告 10 年第 9491 號)
- レールボンド (第 214073 號 實用新案權者 香川 友松 公告 10 年第 9054 號)
- コンクリート杭築造装置 (第 214258 號 實用新案權者 宮崎 一昌 公告 10 年第 9988 號)
- 堤防護岸用沈床装置 (第 214273 號 實用新案權者 加藤 定次郎 公告 10 年第 7606 號)
- 網状自由鐵筋筒 (第 214310 號 實用新案權者 藤岡 分也 公告 10 年第 5457 號)
- コンクリート假 柱支柱 (第 214336 號 實用新案權者 大竹 八郎 公告 10 年第 5523 號)
- コンクリート管の接合機 (第 214593 號 實用新案權者 帝國ニューヒューム鋼管株式会社 公告 10 年第 11644 號)
- 管 接 手 (第 214608 號 實用新案權者 小川 純次 公告 10 年第 7267 號)
- レールボンド取付装置 (第 214686 號 實用新案權者 株式会社日立製作所 公告 10 年第 10086 號)
- 銲接レールボンド保護装置 (第 214687 號 實用新案權者 同 上 公告 10 年第 9305 號)
- レールボンド保護装置 (第 214715 號 實用新案權者 同 上 公告 10 年第 8697 號)
- 測 量 機 (第 214736 號 實用新案權者 若崎 重太郎 公告 10 年第 7485 號)
- 浚 渫 装 置 (第 214950 號 實用新案權者 竹内 政治郎 公告 10 年第 9453 號)